

中期計画とは

- 中期目標を受け、独法自らが作成する具体的計画
- 計画期間は中期目標で定めた期間に合わせて定める
- 記載可能な計画期間の数値目標を記載 → 年度計画への反映
- 計画期間終了後は、達成状況を評価

中期計画記載事項

- ・ サービス・業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置
- ・ 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置
- ・ 予算、収支計画及び資金計画 ・ 短期借入金の限度額
- ・ 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画
- ・ 剰余金の使途 ・ 料金に関する事項

概要

- 中期計画の期間 → 4年間(平成21年度～平成24年度)
 - 重点医療の実施
 - 【血管病】
 - 心血管疾患 → 急性心筋梗塞に対するインターベンション治療
大動脈瘤に対するステント治療、血管再生治療など
 - 脳血管疾患 → 脳梗塞急性期に対する血栓溶解療法
コイル塞栓術等の脳血管内手術
 - 【高齢者がん】
 - 内視鏡や腹腔鏡を用いた手術、放射線治療拡充、外来化学療法等
 - 【認知症】
 - 画像診断による早期診断、もの忘れ外来の充実
 - 高齢者医療・介護を支える研究の推進
 - 【老化メカニズムと制御に関する研究】
 - 健康長寿に寄与するゲノムの解明、老化遺伝子などの解明など
 - 【重点医療に関する病因・病態・治療・予防の研究】
 - 臓器機能改善のための血管障害の起因の解明
 - 中枢神経系の病理学的解析とブレインバンクの運営など
 - 【高齢者の健康長寿と福祉に関する研究】
 - 介護予防の促進に関する手法の開発
 - 「みとりケアのあり方」に関する研究、要介護化の要因解明と予測に関する研究
 - 地域連携の推進
 - 地域の医療機関との役割分担の明確化、情報提供、連携の充実
- ↓
- 紹介率 → 80%以上 逆紹介率 → 53%以上
- 特定の疾病について地域連携クリニカルパスのモデル的な実施を目指す

- 業務運営の改善・効率化
 - 都民ニーズの変化に対応した事業の実施、事業内容の積極的な公表
 - ・ 弾力的な組織体制・人事配置 ・ 経営情報の公開
 - 個人の能力・業績を反映した人事・給与制度
 - ・ 納得性の高い人事考課制度 ・ 能力・業績に応じた給与制度
 - 柔軟で機動的な予算執行
 - ・ 予算執行の弾力化等 ・ 多様な契約手法の活用
- 収入の確保・費用の節減
 - 高齢者の特性に配慮した医療の実施、診療内容の見直しの工夫
 - 退院後の生活を見据えた診療計画の策定や退院支援の積極的な実施
 - 病床管理の弾力化による、空床ベッドの活用
 - 入院前に外来で検査を行うなどによる入院期間の短縮

↓

積極的な患者の受入
病床利用率 → 90%以上

 - 受託・共同研究や競争的研究資金の積極的な獲得
 - 研究員1人あたりの外部資金獲得額の増加
 - 業務委託見直し、コスト管理の徹底、調達方法の改善
- 料金
 - 現行の老人医療センター条例に規定した内容を準用
 - ・ 診療報酬算定基準適用による診療料の徴収
 - ・ 保険外併用療養費の徴収 ・ 個室使用料、診断書・証明書料の徴収
 - 現行の使用料・手数料の額を継続
- その他
 - 剰余金の使途
 - 病院施設の整備、環境改善、医療機器の購入等に充てる。
 - 施設及び設備に関する計画
 - 予定額 32,122百万円(病院・研究施設、医療機器等整備)